



2017年5月25日 第2281回例会
5月第3例会

RIテーマ Rotary serving humanity
「人類に奉仕するロータリー」

本年度会長テーマ
「ロータリー活動 奉仕の覚醒」

「青少年奉仕月間」

◆会長時間◆

香川会長



先日の夜間例会におきましては、多くの皆様の参加をいただき、フラダンスで大変盛り上がりいました。浜田理事並びに鈴木委員長をはじめ、親睦活動委員会の皆様方には大

変お世話になりました。改めて御礼申し上げます。

本日は月初の例会に引き続き、青少年奉仕月間に因んだお話をいたします。ロータリーにおける青少年のための活動は、1920年5月、ニューヨーク・ロータリー・クラブが地元団体と協力して行った「Boy's Week (少年週間)」が始まりだったようです。教育、よき市民、衛生、職業の分野で青少年の育成を促すためのこのイベントは大成功だったようです。この年のロータリー国際大会で成功が報告されると数年前に結成された活動委員会と共に「Boy's Work」プログラムが始まりました。ロータリークラブはこのプログラムで、地元の青少年がよき市民となるよう、少年非行、不登校、不健康を防ぐ活動に取り組むようになりました。

少年週間の行事は、たちまち世界へ広がりました。1920年代中ごろまでには、25カ国、約600カ所で実施されるようになりました。1928年には3,000地域で開催されています。また、1924年にミシシッピ州で少年週間と共に開かれたLoyalty Dayに、少年に加えて少女も参加し、プログラムの対象が広がってきました。

1934年には少年週間が青少年週間 (Youth Week) となり、1936年には少年・少女週間 (Boys and Girls' Week) へと変わったそうです。

1956年、RI理事会は少年・少女週間への公式参加を中止すると決定しましたが、地元青少年のための奉仕をその後も続けるようクラブに推奨しました。

ロータリーは後に、インタークト、ロータークト、ロータリー青少年交換といった青少年や若者のためのプログラムを創設しています。

2010年には、青少年奉仕がロータリーの第五奉仕部門となりました。この様な指導力育成活動や、地元や海外での奉仕プロジェクト、交換プログラムなどの活動を通じて若者に素晴らしい経験の機会を提供し、世界平和と異文化理解が実現されるよう現在も活動を続けているのが、ロータリアンです。

ロータリー財団「ポール・ハリス・フェロー認証状及び襟ピン」の伝達



ポール・ハリス・フェロー 鮫島 茂君

●会務報告

新原幹事

※「ひろくんを救う会」御礼状の紹介

(寄付目標まで残り10%であったところ、先日、国内での心臓移植が実現したそうです。集めた寄付金は各地で海外移植を目指す子供に分配予定のこと。)



※2017-18年度ロータリー手帳が届きましたので、注文された方のBOXに配布しています。

●委員会報告

※プログラム・出席委員会

出席報告 中山委員長

本日(5月25日・木曜日)

会員数 84名 出席者 70名

欠席者 14名 ご来客 7名

ご来賓 1名 ゲスト 0名

計 78名

前々回(5月11日・木曜日)

出席率 100%



●同好会報告

紫友会

隅田世話人

紫友会第11回例会は、5月20日(土)、鹿児島へ遠征し、南国カンツリークラブにて最高のコンディションのもと21名で開催しました。

優勝者は、グロス81 HC9.0 ネット72.0で、柳原君でした。おめでとうございます。準優勝は、グロス77 HC4.5 ネット72.5で、ベスグロ賞・シニア優勝とともに上田君。3位は、グロス81 HC7.2 ネット73.8で西原君でした。ブービー賞は、原君でした。

遠征2日目は場所を移しLPGAツアー ティ一ポイントレディースでおなじみの鹿児島高牧カントリークラブにてダブルペリア方式で行い、優勝は田中君が勝ち取られました。

次回、第12回例会は6月10日(土)、芸南カントリークラブにて開催となっております。

7月の取切戦にむけ、最後のチャンスですので、奮ってご参加宜しくお願ひいたします。

◎紫雀会

片山世話人

5月11日(木)に開催されました紫雀会5月例会

の報告をさせていただきます。今月も庚午の「庚午クラブ」で開催しました。参加者は6名。結果は1位 岡野君、2位 小橋君、3位 木本君となりました。

6月例会は6月15日(木)となっております。

●会員記念日



連続出席100% (11名)

岡野君 (33年)

田中君 (24年)

垂井君 (17年)

沖君 (15年)

米山君 (12年)

前橋君 (12年)

鈴木君 (9年)

新本君 (4年)

松田君 (4年)

北村君 (1年)

石山君 (1年)

連続出席15年 沖清君に記念品贈呈



ご結婚記念日おめでとうございます。

(8名)

吉井君 土井君 柳原君 古本君
村上(健)君 沖君 加藤君 岡野君

ご入会記念月おめでとうございます。

(11名)

刀禰君 (S59年) 岡野君 (S59年)
田中君 (H5年) 沖君 (H14年)
前橋君 (H17年) 米山君 (H17年)
鈴木君 (H20年) 松田君 (H25年)
新本君 (H25年) 北村君 (H28年)
石山君 (H28年)

創業月おめでとうございます。

(5名)

柳原君 (株)広島精機 松岡(幹)君 (株)松岡製作所
森信君 森信建設(株) 上田君 上田昆布(株)
原君 (株)やしき



奥様お誕生日おめでとうございます。

(5名)

原 君	せいか夫人
篠 君	智子夫人
村上(智)君	緑 夫人
吉田君	美智子夫人
宍戸君	亜矢子夫人

4月決算月おめでとうございます。

(3名)

荒谷君	荒谷建設コンサルタント(株)
田中君	田中化工機工業(株)
山木君	(株)L A T環境クリエイト



●スマイルボックス SAA 柴田君

長谷川君（自主申告・トリプル）

5月21日の鈴ヶ峰コースにおいて、第16回のあまのじやく会で優勝しました。ハーフ39のスコアーが出ましたが、後半は49で大波賞を取りました。ハーフ39は私にとって初めてでしたので、トリプルを出宝します。又、準優勝は新本君でした。申し訳ないと思っております。

香川会長、新原幹事、村上次年度会長、前橋次年度幹事、中岡君、垂井君、大植君、宍戸君、柴田君、北村君、古本君、松岡(輝)君

5月18日の夜間例会で見事なフラダンスを披露された皆さん、ご出宝お願いいたします。

紫友会

5月例会

優 勝 柳原君 ダブル

準優勝 上田君、シニア優勝とベスグロ併せて、トリプル

3 位 西原君

また翌日、ダブルペリア方式での優勝の田中君、笑顔で出宝お願いします。

番外編としまして、出発日の朝、ことあろうか新幹線のチケットを家に忘れて来られ、世話人の皆さんを困らせた西原君、出宝宜しくお願ひします。

これまた番外編としまして、行きの新幹線の中で、朝の軽食のゴミと一緒に鹿児島行きのチケットを捨ててしまい、鹿児島に着いてから世

話人の皆さんを困らせてしまった、村上健一君、笑顔でご出宝お願いします。

●紫雀会

1位 岡野君 ダブル

2位 小橋君

3位 木本君

●加藤君

5月21日(日)、R C C の人気番組「元就」に、遂に登場されました。広島の老舗和菓子屋と言つたら、ご存じ「御菓子所 高木」。加藤君自ら工場内を案内され、社長室に戻っては発売前の新商品を紹介されるなど、それはもう満面の笑顔でした。御菓子所高木と加藤君の益々のご活躍を祈念いたします。笑顔でご出宝ください。

■卓 話

地域ぐるみで子どもを育む社会の構築



広島県警察本部少年対策課
課長補佐 松本 孝司氏

本日は、お話をさせていただく機会をいただきましてありがとうございます。本日は大きく3点についてお話しさせていただきます。1点目は、少年非行の近年の傾向とその背景についてお話しします。2点目は、未然防止と立ち直り支援について、3点目は、子どもたちに寄り添う接し方についてお話ししたいと思います。

まずは、少年非行の近年の傾向とその背景について、お話しします。近年、児童生徒による暴力行為の発生件数は、なだらかに減少している様子が見えますが、注目していただきたい点が、小学生による暴力行為発生件数の割合が年々増加傾向にあるところです。

平成28年12月末の検挙、補導数をみると、14才以上20才未満の少年は減少していますが、14才未満の少年は増加しています。また、刑法犯少年の検挙、補導状況については、小学生以下が増加し、14才未満の中学生も増加しています。

これらのように、小学生における暴力行為の増加、14才未満のこどもたちの少年非行が増加傾向

にあり、少年非行の低年齢化している傾向が見えます。

近年、子どもたちの規範意識の醸成を担ってきた家庭や地域社会の教育力が低下してきているとも言われています。子どもたち一人一人の成長は、個人のもつ性格や能力、家庭での養育、学校教育によってすべてが決まるものではありません。もう一つ多様な地域社会における環境によってもその成長は、大きく影響されることは御承知のところです。流通網・交通網の発展、インターネットや携帯電話の普及による高度情報化や都市化の進展、少子化の進行など、社会が急速に変化しています。この大きな変化から、これまで地域社会が担っていた教育的機能にも変化が見られるようになりました。それは、地域社会のもつ、よい意味での閉鎖的な側面が薄れ、個々の価値観やライフスタイルの多様化が進み、人々は便利さを享受するようになったことです。その一方で、地域社会の構成員として帰属意識をもち、地域の中でともに働く機会は減少することとなりました。

こうして、地域の人々の連帯感が希薄化し、価値観や経験を共有する機会が減少してくることは、子どもたちに対して果たしてきた教育機能の低下につながっていると考えられます。

2点目として、現在、広島県警察は、子どもたちの問題行動の未然防止と立ち直り支援のため、「少年サポートセンター」を設置し、体験活動や学習支援などの立ち直りの支援を実施したり、問題を抱える学校に警察OBをスクールソポーターとして派遣したり、「少年警察ボランティア」による未然防止と立ち直り支援を行ったりするなど、様々な取組を行っています。「スクールソポーター制度」や「少年警察ボランティア」などの様々な取組の中から「少年警察ボランティア」の取組を例に、子どもたちの問題行動の未然防止と立ち直り支援についてお話しします。

現在、広島県警察が進めている「少年警察ボラ

ンティア」の「少年補導協助員」による取組を例に、未然防止と立ち直り支援についてお話しいたします。従来の活動は、校外での街頭補導や継続補導が中心でしたが、現在では、学校のニーズに応じて、学校行事に参加したり、校内巡回指導を行ったりするなど、学校内外で子どもたちと関わるようになりました。子どもたちと関わる機会が増えることにより、活動の幅が広がり、地域ぐるみで少年の健全育成が図られるようになってきました。

学校行事への参加の他、校門指導や犯罪防止教室の開催などを行うとともに、警察署毎に「いかのおしすしDVDの作成」や料理教室などを通じた立ち直り支援を行ったりしています。

地域の子どもは地域で育て、ゆくゆくは地域の担い手となります。そういう意味でも、このような活動は地域社会の教育力の再生に重要な役割を担っていると考えます。

最後に、子どもたちに寄り添う接し方のポイントを御紹介します。少年と接するときの心構えとしては「思いやりの心で少年に声をかける」「少年の反抗心をあおることのない」「自然な態度で、親しみをもって接する」などです。終わりになりましたが、自分の居場所を見出せず、孤独感、疎外感を抱いている多くの子どもたちの健全育成に、地域社会の教育力は欠かすことができません。是非、地域の子どもたち、広島県の子どもたちの未来のために、皆様のお力をいただけますようお願いいたしまして、お話を終わらせていただきます。本日は、このような機会をいただきまして、誠にありがとうございました。

● 卓話予告

日 時	テ　ー　マ
6 / 1 (木)	「金座街商店街とカープのお話」 中岡 弘夫君

例会日・木曜日 12:30～13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 香川 基吉
幹事 新原 靖

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
作成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC 検索 